

北海道浮魚ニュース

平成25(2013)年度16号

2013年 9月13日

地方独立行政法人北海道立総合研究機構水産研究本部
釧路水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/central/shigen/ukiuo/uki_index.htm

◎道東太平洋マサバ・マイワシ漁期中調査結果

北辰丸（釧路水産試験場調査船）によって行われたマサバ・マイワシ漁期中調査の結果をお知らせします。

調査期間

2013年9月3日～9月11日

調査海域および調査点

道東～三陸沖合太平洋海域（北緯41度00分～42度40分、東経143度40分～146度00分：親潮系冷水域および黒潮系暖水域）における8調査点（図1）。

調査方法

10種類の目合（22・25mm：30間切り各1反、29・37mm：30間切り各4反、48mm：60間切り2反、55・63・72・82mm：60間切り各1反、182mm：60間切り15反）の流し網を用いた漁獲試験。

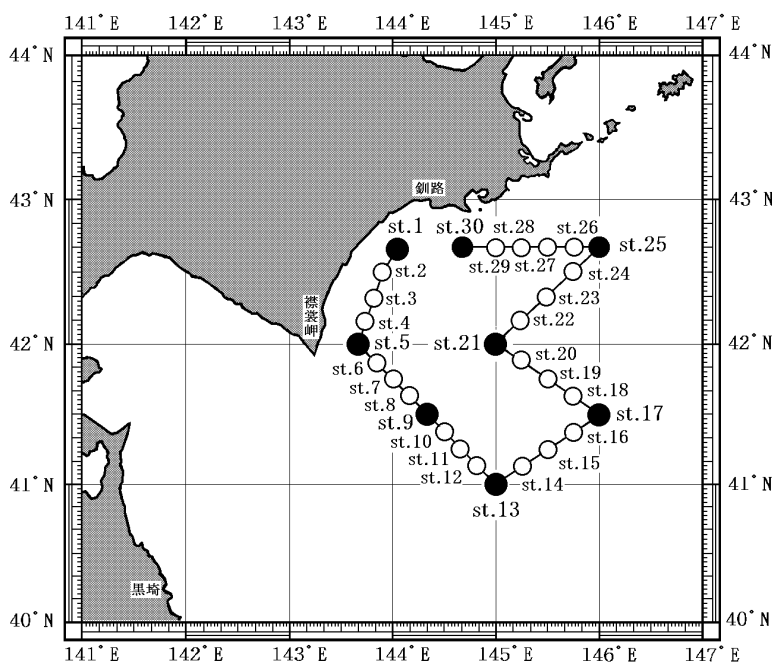


図1 漁獲試験調査点

調査結果

①漁獲試験を行った8調査点の表面水温は19.1～20.9℃（前年：18.5～23.0℃）、50m層は3.5～10.4℃（前年：3.0～12.5℃）、100m層水温は1.8～6.3℃（前年：2.1～7.3℃）でした（表1）。

表1 水温および魚種別採集尾数

st.	1	5	9	13	17	21	25	30	合計
表面水温(°C)	19.1	20.5	20.9	20.7	20.7	20.0	20.5	19.9	
50m水温(°C)	10.4	4.8	3.7	3.5	6.1	3.8	8.1	6.6	
100m水温(°C)	4.6	2.7	1.8	2.6	3.0	6.3	5.0	4.1	
サバ類	372	60	77	10	349	176	45	25	1,114
マイワシ	479	4			11			26	520
カタクチイワシ	1				1				2
サンマ	13	4			23	1		9	50
スルメイカ	23	40							63
アカイカ	8	2	236	179	78	306	113	107	1,029

②調査点別の魚種別漁獲尾数（表1）および流し網調査1回当たりの漁獲尾数（CPUE）の経年変化（図2、4、6、8、10、11）ならびに漁獲試験で採集された漁獲物（図3、5、7、9）は以下のとおりです。

・サバ類(マサバ、ゴマサバ)

8調査点で10～372尾、合計1,114尾漁獲されました(表1)。

CPUEは139.3尾/回で、前年の357.8尾/回を下回りましたが、1994年以降では8番目に高い値を示しました(図2)。

しかし、全国の資源評価によれば、資源水準は依然低い状態にあるものと思われま

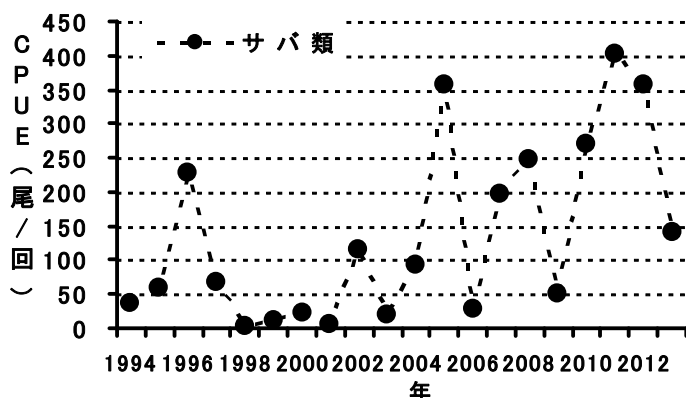


図2 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(サバ類)

魚体は尾叉長17～37cm台で、27～29cm台(副モード19cm台)の個体が主体(図3)で、前年(主体:30～34cm台)より小型でした。

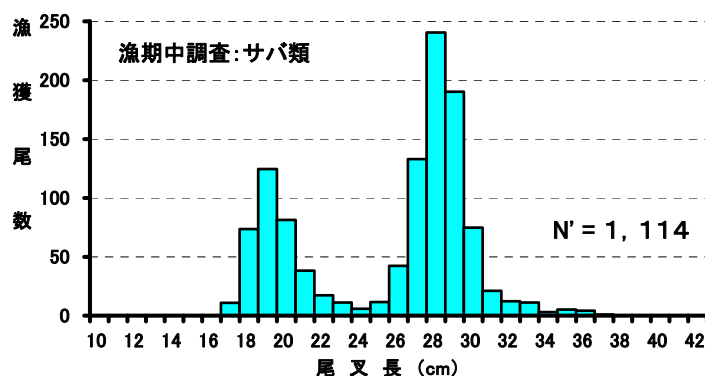


図3 サバ類の漁獲物体長組成

・マイワシ

4 調査点で 4 ~ 479 尾、合計 520 尾漁獲されました (表 1)。

CPUE は 65.0 尾/回で、前年の 586.5 尾/回を下回りましたが、1994 年以降では 3 番目に高い値を示しました (図 4)。

全国の資源評価によれば、資源動向が増加傾向で、資源水準は中位の状態にあるものと思われれます。

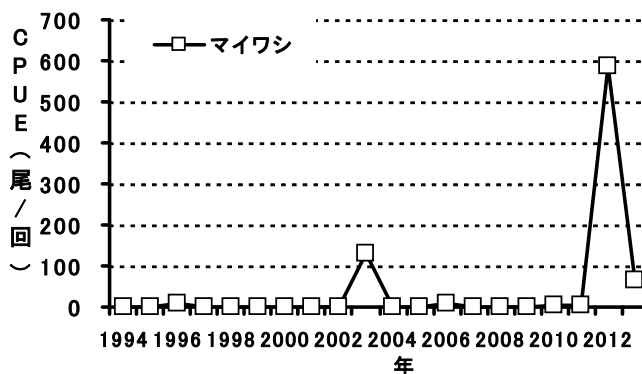


図4 調査1回当たり漁獲尾数 (CPUE) の経年変化 (マイワシ)

魚体は体長 13.5 ~ 24.4cm 台で、18.0 ~ 19.0cm 台 (副モード 20.5cm 台) の個体が主体 (図 5) で、前年 (主体: 20.0cm 台) より小型でした。

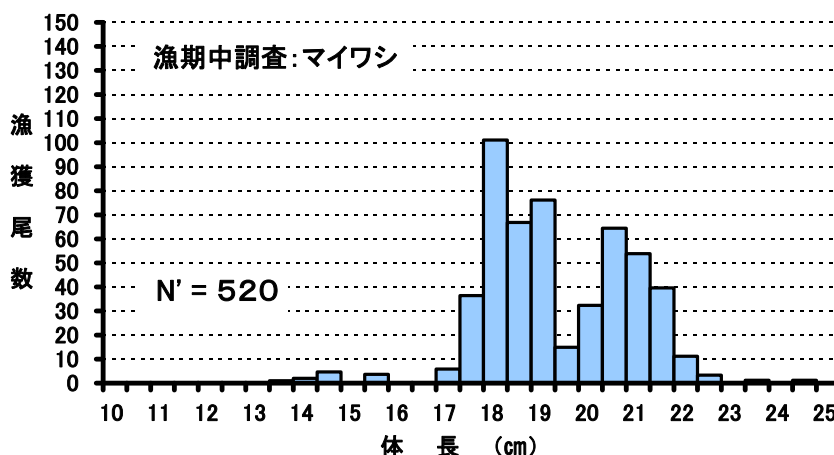


図5 マイワシの漁獲物体長組成

・カタクチイワシ

2 査点で各 1 尾、合計 2 尾漁獲されました (表 1)。

CPUE は 0.3 /回で、前年の 165.4 尾/回を大きく回り、1994 年以降では最も低い値を示しました (図 6)。

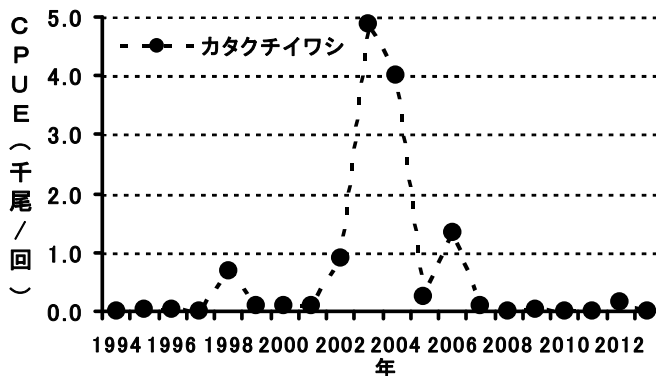


図6 調査1回当たり漁獲尾数 (CPUE) の経年変化 (カタクチイワシ)

魚体は体長 12.5cm 台と 13.5cm 台（前年 12.0 ～ 14.5cm 台）でした（図 7）。

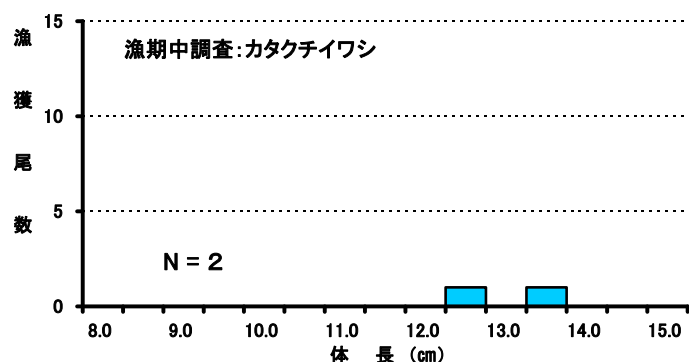


図7 カタクチイワシの漁獲物体長組成

・サンマ

5 調査点で 1 ～ 23 尾、合計 50 尾漁獲されました（表 1）。

CPUE は 6.3 尾／回で、前年の 1.4 尾／回を上回りましたが、1994 年以降では 2 番目に低い値でした（図 8）。

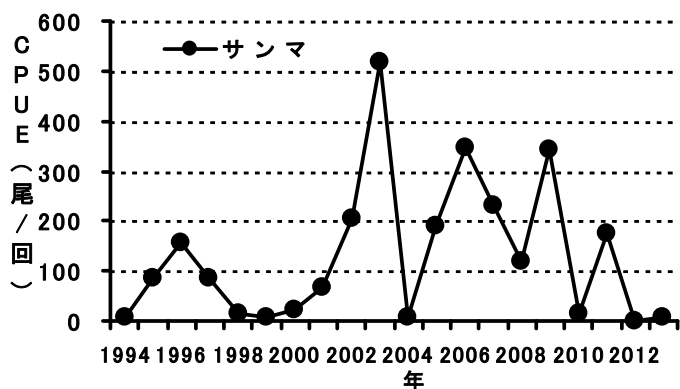


図8 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(サンマ)

魚体は肉体長 17 ～ 21cm 台と 23 ～ 24cm 台に 28 ～ 33cm 台（前年：22cm 台と 30 ～ 33cm 台）で、30 ～ 32cm 台（副モード 19cm 台）の個体が主体（図 9）でした。

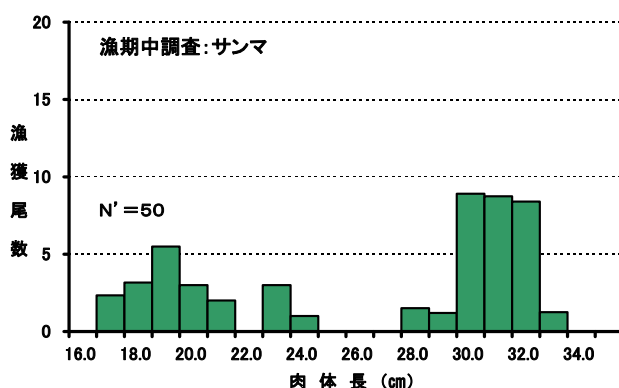


図9 サンマの漁獲物肉体長組成

（文責：道総研 水産研究本部 釧路水産試験場 調査研究部、
直通電話：0154-23-6222、FAX：0154-23-6225）